



平成 31 年 2 月 25 日発行

薬局通信 第93号



大阪母子医療センター

掲載薬品一覧

新規試用品目	患者限定医薬品	院外専用医薬品
モビコール配合内用剤 (6.8523g/包)	バリキサドライシロップ5000mg	デュアック配合ゲル (10g/本)
ヘプタボックス-II水性懸濁注 シリンジ0.25mL、0.5mL	カルタンOD錠250mg	トラベルミン配合錠
グルコンサンK細粒4mEq/g (1g/包)	重曹錠500mg「マイラン」	カロナールシロップ2%
	オキシコドン徐放カプセル 5mg、20mg「テルモ」	クラリチンドライシロップ1%
		ヒルドイドフォーム0.3% (92g/本)
新規採用医薬品	デスモプレシン点鼻液0.01% 協和 (2.5mL/本)	ツムラ大承気湯エキス顆粒 (医療用) (2.5g/包)
フェロ・グラデュメット錠105mg	リリカOD錠25mg	ビソノテップ4mg
献血ヴェノグロブリンIH10%静注 0.5g/5mL、2.5g/25mL、5g/50mL	ハイボン細粒20%	ストラテラカプセル40mg
小児用ムコソルバンシロップ0.3%	セロクエル細粒50%	
オキシコンチンTR錠5mg	リクシアナOD錠30mg	
	バイステージ370注100mL	
採用中止薬	モビプレップ配合内用剤 (A剤 244.212g/包) (B剤 244.212g/包)	
ヘプタボックス-II (0.5mLバイアル)		

採用薬品の処方開始は、原則として平成31年3月1日からとなります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。

薬事委員会からのお知らせ

販売中止医薬品

- ・サイゼン皮下注用 8 mg が販売中止 (2019. 3 予定)。
- ・メチルプレドニゾロンコハク酸エステル Na 注射用 40mg、125mg、500mg「サワイ」が販売中止 (2019. 3 経過措置予定) のため、先発品ソル・メドロール静注用 40mg、125mg、500mg へ切替え。

新規試用医薬品

モビコール配合内用剤 処方箋医薬品

(EA ファーマ株式会社) 慢性便秘症治療薬

一般名： 1 包 (6. 8523g) 中に下記の成分を含有する。

マクロゴール 4000 6. 5625g、塩化ナトリウム 0. 1754g、炭酸水素ナトリウム 0. 0893g、
塩化カリウム 0. 0251g

効能効果： 慢性便秘症（器質的疾患による便秘を除く）

用法用量： 本剤は、水で溶解して経口投与する。

通常、2 歳以上 7 歳未満の幼児には初回用量として 1 回 1 包を 1 日 1 回経口投与する。以降、症状に応じて適宜増減し、1 日 1～3 回経口投与、最大投与量は 1 日量として 4 包まで（1 回量として 2 包まで）とする。ただし、増量は 2 日以上の間隔をあけて行い、増量幅は 1 日量として 1 包までとする。

通常、7 歳以上 12 歳未満の小児には初回用量として 1 回 2 包を 1 日 1 回経口投与する。以降、症状に応じて適宜増減し、1 日 1～3 回経口投与、最大投与量は 1 日量として 4 包まで（1 回量として 2 包まで）とする。ただし、増量は 2 日以上の間隔をあけて行い、増量幅は 1 日量として 1 包までとする。

通常、成人及び 12 歳以上の小児には初回用量として 1 回 2 包を 1 日 1 回経口投与する。以降、症状に応じて適宜増減し、1 日 1～3 回経口投与、最大投与量は 1 日量として 6 包まで（1 回量として 4 包まで）とする。ただし、増量は 2 日以上の間隔をあけて行い、増量幅は 1 日量として 2 包までとする。

処方区分： 院内・院外処方可

長期投与の可否： 不可

薬価： 1 包 83. ⁹⁰円

ヘプタックス-II 水性懸濁注シリンジ 0. 25mL、0. 5mL 生物学的製剤基準

(MSD 株式会社) ウイルスワクチン類

一般名： 組み換え沈降 B 型肝炎ワクチン（酵母由来）

効能又は効果／用法及び用量：

1. B型肝炎の予防

通常、0.5mL ずつを4週間隔で2回、更に、20～24週を経過した後に1回0.5mLを皮下又は筋肉内に注射する。ただし、10歳未満の者には、0.25mL ずつを同様の投与間隔で皮下に注射する。

ただし、能動的HBs抗体が獲得されていない場合には追加注射する。

2. B型肝炎ウイルス母子感染の予防（抗HBs人免疫グロブリンとの併用）

通常、0.25mLを1回、生後12時間以内を目安に皮下に注射する。更に、0.25mL ずつを初回注射の1箇月後及び6箇月後の2回、同様の用法で注射する。

ただし、能動的HBs抗体が獲得されていない場合には追加注射する。

3. HBs抗原陽性でかつHBe抗原陽性の血液による汚染事故後のB型肝炎発症予防（抗HBs人免疫グロブリンとの併用）

通常、0.5mLを1回、事故発生後7日以内に皮下又は筋肉内に注射する。更に0.5mL ずつを初回注射の1箇月後及び3～6箇月後の2回、同様の用法で注射する。なお、10歳未満の者には、0.25mL ずつを同様の投与間隔で皮下に注射する。

ただし、能動的HBs抗体が獲得されていない場合には追加注射する。

処方区分：院内処方可

薬価：0.25mL:1筒 2,176円、0.5mL:1筒 2,417円

グルコンサンK細粒4mEq/g

（科研製薬株式会社）カリウム補給剤

一般名：グルコン酸カリウム製剤

効能効果：低カリウム状態時のカリウム補給

用法用量：1回カリウム10mEq相当量を1日3～4回経口投与。症状により適宜増減する。

処方区分：院内・院外処方可

長期投与の可否：可

薬価：1包 8.⁴⁰円